

1. 日時 令和3年8月24日
2. 場所 彦根市役所 5階 第2、3会議室（オンライン会議併用）
3. 出席者（五十音順）

<委員>7名

金谷 健【オンライン】
可児島 達夫【オンライン】
小林 伊三夫
中村 傳一郎【オンライン】
西元 靖怜子
米田 紀代子【欠席】
渡邊 美幸【オンライン】

<事務局>12名

上下水道部：廣田部長、木村次長（下水道建設課長）
上水道工務課：林課長、杉本課長補佐【欠席】、藤田副主幹（浄水場長）、安居係長【欠席】
上下水道業務課：田中課長、前川課長補佐【欠席】、藤本係長【欠席】
上下水道総務課：清水課長、足立係長、井上主任

<R2 彦根市水道事業ビジョンおよび彦根市水道事業第3期中期経営計画見直し委託業務受注者>
3名

株式会社東京設計事務所【オンライン】

事務局

【1 開会】

ただ今から第3回彦根市水道事業経営等検討委員会を開催いたします。
皆様方には、大変お忙しい中ご出席くださりまして、誠にありがとうございます。
本日の司会を務めさせていただきます上下水道総務課の足立でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

本日の会議ですが、現在、滋賀県は「まん延防止等重点措置」の実施地域であり、また、「コロナとのつきあい方滋賀プラン」におけるステージが「特別警戒ステージ（ステージⅣ）」とされていることから、オンライン会議との併用で開催いたしますのでご了解いただきますようお願いいたします。

本日の会議ですが、会議の成立要件といたしまして、彦根市水道事業経営等検討委員会設置要綱第6条第3項の規定により、委員の過半数の出席が必要となっております。本日は委員7名中6名の方がご出席でございますので、ここに会議が成立しましたことをご報告いたします。

それでは、ただ今から会議次第に従いまして進めていただきたいと思います存じますが、委員会設置要綱第6条第2項の規定により、会議の議長は委員長があたることとなっておりますので、可児島委員長よろしくお願ひいたします。

【2 議事】

委員長

それでは、ただ今から議事に入らせていただきます。

彦根市水道事業第3期中期経営計画（経営戦略）（改訂版）について、第2回の検討事項を踏まえて事務局から説明をお願いします。

～（1）彦根市水道事業第3期中期経営計画（経営戦略）（改訂版）について～

事務局

（配布資料の確認、配布資料をもとに説明）

- ・資料2-第3期中期経営計画（経営戦略）-第3回委員会

委員長

検討事項について、事務局より説明がありましたが、ご意見がありましたらお願いいたします。

（質疑）

委員

P3「給水人口や使用水量の減少等により」のところに、前回資料P5にありました「節水意識の向上」という表現を追加した方が、市民の意識によって水量が減少したということが伝わるのではないのでしょうか。

事務局

ご意見ありがとうございます。厳密に給水量の減少要因を確認したところ、確かに10～5年前までは減少していました。近年5年では、実際に一人当たりが使用する水量は微増しています。節水機器の普及と機器の性能の向上が落ち着いたことも関係していると思います。そのため、現状としては「節水意識の向上」という文言は外させていただきました。

水量の減少についての補足ですが、実際に家庭で使用する生活用水量については、ここ5年間ではそれほど減少していません。業務営業用、工場用水量が減っているため近年の有収水量が減少していることがポイントになります。

委員

現在のことのみではなく、これまで節水を意識してきたからこそ水量が減少したということを表現した方がよいと思ったのですが、いかがでしょうか。

事務局

P3の文につきましては、過去の要素と現在の要素がどの時期かというのは分かりにくいですが、一般的には直近10年のことを書く認識しておりました。

委員

了解しました。拘りはありませんが、市民が協力したということ表現できれば良いかと思った次第です。

事務局

10年前くらいは節水意識の向上によって水量は減少していましたので、そのようなニュアンスの表現の追加につきましては、変更は可能です。

委員

P5の生活用水量の微増の説明で、「減少が抑制」という表現は分かりづらいと思います。微増になっている要因を分かり易く表現した方が、読み手が読みやすいと思います。

事務局	ご指摘いただいた箇所は、おっしゃるように難しい表現となっていますので、表現を検討させていただきます。
委員	P26 で、例えば令和 8 年は未来のことですので、西暦ですと何年になるのかが瞬時に判断できません。
委員	表紙には「2017 年度～2026 年度」とありますが、本文は和暦で書かれていたりします。混乱をなくすために工夫していただけると良いかと思います。
事務局	おっしゃるように、西暦と和暦が混在しているため、統一するように検討いたします。
委員長	西暦で統一した方が分かり易いかと思いました。
委員	P9 に平均値や中央値が記載されていますが、滋賀県の他市町村（例えば草津市や長浜市）はどうなっているのか、一市民として知りたいと感じました。
事務局	総務省が発表しています経営比較分析表は、県の HP にも記載のある情報ですので、ご提示できると思います。比較分析表は市町村毎になっています。
事務局	経営計画上は、本文の変更の関係もありますので、このままとさせていただきたく思います。
委員	HP を見ればわかるということであれば結構です。
委員長	補足資料で説明していただくか、別媒体で公表する形にするのか、付表として付け足すのか、どういった形になるのでしょうか。
事務局	HP に記載があるものですので、参照いただけるように案内を記載する形を検討します。
委員長	その形で結構だと思います。
委員	P26 の料金改定検討について、記載内容に問題はないと思いますが、初めから読み進めて P26 を見ると、なぜ検討が必要であるかが分かりづらいので、「料金改定の必要性を検討」の後に、理由の記載があるページ (P31) を参照として記載してはどうでしょうか。
委員	P31 の「計画期間」の文言の後に何年～何年なのかという記載があると分かり易いかと思いました。
事務局	ご指摘いただいた 2 点につきまして、修正させていただきます。

委員 P32 の下の表は、料金回収率が令和 12 年で 100%を切る形になっています。収支が合わなくなるため、料金の値上げを行うという説明になると思いますが、料金回収率だけではなく、他の要因もあると思います。その他の要因について教えていただけますでしょうか。

事務局 P24 の左のグラフは耐用年数を設定させていただいており、将来どれくらい更新が必要かということを表しています。右は延命化や統廃合等を考慮した場合を表しています。まず構造物および設備では、右のグラフを見ると前倒ししているように見えますが、トータルで考えると差はほとんどありません。次に管路についてですが、管路整備は整備ボリュームとして大きな部分を占めており、投資額も大きいです。左の表（耐用年数での計算）では、「令和 2 年～6 年」で大きな投資が必要になっていますが、現状では大きな投資ができないため、後送りしつつ整備していくことになります。令和 40 年頃になるとさらに膨大な投資が必要になります。現実的にこの膨大な投資を行うのは不可能です。そのため、後送りしつつ前倒しも考えながら平準化し、整備を行っていかなくてはなりません。

事務局 本文には「計画的に整備量を増やしていきます」という表現を入れてあります。

事務局 文章では伝わりにくいと思いますが、動力費や事務経費については、限界に近いところまで切り詰めてきています。整備にかかる金額は、動力費や事務経費に比べて大きいです。無駄な投資は行わず、市民のみなさまへの安定供給のために、必要な整備も行っていかななくてはならないという状況です。

委員 給水原価の移り変わりが分かるような資料はありますか。

事務局 現況の給水原価につきましては、2 章 P14 に記載があります。計画を含めた値につきましては、6 章 P37 に記載しています。

委員長 P32 のグラフは計画より先の見込みも記載されています。給水原価が上昇していくと令和 12 年あたりでマイナスに転向すると予測されていることが読み取れます。全てが同じ数字ではないため、突合せは難しいですが、よく見れば予測は可能だと思います。

委員長 ～（2）彦根市水道事業ビジョン（改訂版）について～
それでは次に、彦根市水道事業ビジョン（改訂版）について、第 2 回委員会での検討事項を踏まえて事務局から説明をお願いします。

事務局 （配布資料の確認、配布資料をもとに説明）
・資料 1-彦根市水道ビジョン-第 3 回委員会

委員長 検討事項について、事務局より説明がありましたが、ご意見がありましたらお願いい

たします。

(質疑)

委員

P44で「更新需要と投資可能な金額」とありますが、「更新需要」という文言がわかりにくく、さらに同じページに「更新需要」と「更新費用の確保」という文言が使われています。「更新需要」と「更新費用」同じ意味を指しているのでしょうか。同じ意味であれば統一する方が良いと思います。

また、「投資可能な金額」という文言の前に、例えば「現在の状況における」といった表現を追加した方が、条件を変えることで操作が可能であることが伝わるのではないかと思います。

事務局

ご指摘いただいた通り、「現在の状況における」という文言を付け加えた方が意図した内容が伝わると思いました。

事務局

「需要」という言葉を使うことで混乱を招くかもしれませんので、表現につきましては工夫させていただきます。

委員

表全体が、実績・中期・長期となっており、期間についてはP2に記載がありますが、P44の「計画期間以降」というのがどこを指しているのかが分かりません。

事務局

表現を検討させていただきます。

委員長

表の表現を「計画期間（中期）」に変更すると、表がすべて2段になります。

委員

P2に合わせるべきなのかと感じましたが、本文を修正すると修正箇所が少なくて済むかと思います。

～（3）その他～

委員長

以上で予定の議事は終わりですが、「その他」で事務局から、何か連絡事項があればお願いします。

事務局

本日も指摘いただきました修正点につきましては、第4回委員会にてご報告させていただくか、各委員様に送付させていただく形で了解を得たいと考えております。

委員長

今回の修正内容は、根本的な内容ではなかったように思いますが、どのような方法で確認をさせていただきますでしょうか。

委員

委員長と事務局で決定していただいて結構です。

委員長

それでは、事務局と打ち合わせをし、確認を進めます。

事務局

今後の流れでございますが、これまでの委員会でいただいたご意見等を取りまとめ、可児島委員長と打合せのうえ、答申書を作成してよろしいでしょうか。答申書作成後、各委員の皆様にご確認いただき、ご異議がなければ、可児島委員長から市長へ答申書を提出していただきます。

その後、概ね約1か月間パブリックコメントをとり、水道事業ビジョン（改訂版）および第3期中期経営計画（経営戦略）（改訂版）として公表する予定としております。

委員長

委員会としては今回が最後ということにさせていただきます。

【3 閉会】

事務局

本日で委員会が最終となりますので、上下水道部長からご挨拶申し上げます。

部長

【部長あいさつ】

委員長

それでは、以上をもちまして全3回の委員会を終了します。みなさまご意見をいただきましてありがとうございました。